

平成23年度小平市防災会議議事録

1 開催日時

平成23年10月3日（月）14時00分から15時00分まで

2 場所

小平市役所6階大会議室

3 出席状況（会長除く。）

委員数29人、出席24人（代理者含む。）、欠席5人

4 議題

議案第1号 平成23年度小平市総合防災訓練の実施について

5 傍聴人

2名

6 会議内容

○開会挨拶

【防災安全課課長補佐】

本日は、ご多用の中、ご出席を頂きましてありがとうございます。

ただいまから、平成23年度小平市防災会議を開会させていただきます。本日の会議の司会を務めさせていただきます防災安全課課長補佐の鬼澤と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、防災会議委員の委嘱についてご案内させていただきます。

防災会議委員をお願いしております各機関の人事異動等がございました関係で、多くの委員が変わられておりました。新たに委員をお願いいたしました方々の委嘱状の交付につきましては、先般お届けさせていただいたとおりでございますので、引き続きよろしくお願いいたします。

次に、お集まりの皆様全員に自己紹介をお願いしたいと存じます。

はじめに、陸上自衛隊の第一師団、第一後方支援連隊さんからお願いいたします。

（各委員による自己紹介）

有難うございました。

それでは、次第に従いまして、防災会議を進めさせていただきます。

はじめに、小平市防災会議会長の小平市長、小林から皆様にご挨拶を申し上げます。

○会長挨拶

【会長（市長）】

本日は、ご多忙のところ、平成23年度小平市防災会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から防災行政をはじめ市政全般にわたりまして、多大なご支援ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、申し上げるまでもなく、本年3月11日に発生した東日本大震災においては、極めて大きな社会的影響をもたらしております。

ここにいらっしゃる各機関の皆様におかれましても、東日本大震災への対応に当たっては、被災地あるいはこの多摩地域で様々なご活躍をされていることと存じます。

小平市では、本年度の総合防災訓練を東京都と合同で実施することとして、昨年より準備を進めてまいりました。

その中で、東日本大震災が発生し、訓練の開催日の延期や、近隣3市の訓練参加等があり、各機関の皆様にも大変ご迷惑をおかけいたしました。このような時期に東京都と近隣市と合同で訓練を実施できることは、市民の自助・共助による防災力の向上、そして各機関の皆様との連携を強化するには、良い機会であると考えております。

最後になりますが、本日の防災会議におきましては本訓練内容等につきまして、ご審議いただきますとともに、小平市の防災行政への忌憚のないご意見、ご提案など頂戴できればと存じますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

【防災安全課課長補佐】

次に、本日の防災会議の議事に入ります。進行につきましては、防災会議会長であります市長にお願いいたします。

それでは、よろしくお願いいたします。

○議題

【会長（市長）】

議題に入ります前に、本日は傍聴者が2名おります。本会議は公開を原則としておりますのでご了承をお願いします。

<各委員了承後、傍聴希望者入場>

議事に入ります。

はじめに議案第1号 「平成23年度小平市総合防災訓練の実施について」事務局の説明を求めます。

【事務局（防災安全課主査）】

あらためまして、防災安全課 松村と申します。よろしく申し上げます。

それでは、議案第1号から説明させていただきます。大変恐縮ですが、着座にて説明させていただきます。

お手元にお配りいたしました資料に沿って説明いたします。

まず、1ページ目から2ページをご覧ください。

はじめに「平成23年度小平市総合防災訓練実施要綱（案）」について

第1 総合防災訓練実施要綱の意義でございますが、

先ほども会長からお話があったとおり、東日本大震災を契機に、市民の防災意識はますます高まっております。

災害から市民の生命及び財産を守るためには、防災関係機関が一体となり、防災体制を整備していくとともに、「自らの身の安全は自らが守る。自分たちのまちは自分たちで守る。」という自助・共助の理念に基づく市民の行動、これを救援する公助としての行政及び防災関係機関の密接な連携が不可欠であり、防災訓練を通じて災害対応能力を検証し、防災体制強化に反映させていくことが必要であります。

こうした趣旨から、小平市では、災害対策基本法、小平市地域防災計画、東京都総合防災訓練実施要綱等に基づき、本年度の総合防災訓練を実施いたします。

第2 総合防災訓練の目的でございますが、

具体的には、これらの訓練を通じ、市街地での同時多発災害に対応した防災対策の習熟と、各防災関係機関相互の連携、協力体制の確立を図り、市民、自主防災組織、学校、社会福祉施設、病院、事業所等が地域、組織、職場ぐるみで防災活動を実践し、防災行動力の向上と防災意識の高揚を図ることを目的といたします。

第3 総合防災訓練の基本方針でございますが、

1 いたします、

今年度は、多摩直下を震源とする地震を想定した総合防災訓練を、東京都・小平市・西東京市・武蔵野市・小金井市と合同で実施いたします。

2 いたします、

東日本大震災を踏まえ、自治体間の連携による避難所運営訓練を、実践的に実施いたします。

3 いたします、

自治会、自主防災組織を中心とする市民が、一体となって防災活動を実践する地域重点型の訓練を実施いたします。

また、隣接する別々の行政区の市民間による、共助による救出・救助実動訓練を実

施、共助によりどこまでできるかを体験する。

4といたしまして、

都市型災害に対応した道路啓開訓練、ライフライン確保訓練、倒壊家屋対策などの訓練を実施します。

5といたしまして、

すでに終了しておりますが、学校、社会福祉施設、病院、その他の事業所等においては、8月30日から9月5日の防災週間の間に、それぞれ実情にあった訓練を実施しております。

6といたしまして、

防災訓練を通じて、市民が自らの避難場所等の確認、家族間の安否確認手段など、災害時における行動のあり方について考える機会となる訓練を実施いたします。

一枚おめくりいただきまして2ページの

第4 訓練の体系でございますが、こちらは4ページの別表1をご覧ください。

発災対応型訓練といたしましては、災害対策本部運営訓練として3項目、防災関係機関活動訓練として広域応援訓練など9項目、市民等参加訓練として2項目、地域活動訓練として3項目、合計17項目にわたって訓練を実施いたします。

なお、地域活動訓練3項目については、予知対応型訓練と関連づけた訓練となります。

2ページに戻りまして、

第5 訓練の想定でございますが、直下型地震による発災対応型訓練については、10月29日の土曜日、午前9時頃、多摩直下を震源とする地震が発生し、市内各所で家屋の倒壊や火災が多発し、甚大な被害が発生したという想定でございます。

次に、東海地震に係わる予知対応型訓練及びその他の訓練（施設ごとに実施する職員の参集訓練や避難訓練など）につきましても、訓練実施主体がそれぞれの実状に応じ定め、実施しております。

第6 実施日時及び場所でございますが、実施日時は、平成23年10月29日（土）午前9時から12時を予定しております。

なお、一部展示体験訓練は13時まで実施する予定でございます。

訓練会場は、都立小金井公園でございます。

お手持ちの資料11ページとなります。

第7 訓練項目及び実施内容につきましては、後ほど説明させていただきます。

第8 訓練の依頼でございますが、市民の方々をはじめ、各団体に訓練を実施するようお願いをするものでございます。

まず、まちぐるみ防災総点検・地区別防災訓練といたしまして、自治会配布のパンフレットなどを通じ、各家庭における火の元(ひのもと)点検、避難場所、非常持ち出し品の確認、及び震災に対する家族会議の実施などを依頼するとともに、自治会、自主防災組織による自主的な防災訓練の実施を依頼いたします。

また、学校等対策訓練といたしまして、関係課を通じまして保育園、小・中学校に地震発生時等を想定した避難訓練などを実施するよう要請いたします。

さらに、福祉施設などの対策訓練といたしまして、福祉施設、病院等に災害時要援護者の安全確保を図るため、関係課を通じまして、避難訓練等の実施を依頼いたします。

第9 発災対応型総合防災訓練参加機関でございますが、資料の6ページ「別表3」に、10月29日(土)の訓練に参加を予定している防災関係機関を掲げておりますので、よろしくお願いいたします。

第10 訓練の中止等でございますが、

発災対応型総合防災訓練当日の10月29日(土)に災害が発生した場合、又は発生する恐れがある場合及び悪天候の場合は、訓練を中止いたします。

悪天候の場合、当日午前6時に判断し、全機関に対し、速やかにご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。

次に、5ページをご覧ください。訓練項目および実施内容でございますが、こちらは先ほど説明いたしました訓練の体系の内容一覧となっております。

7ページから8ページをご覧ください。

小平市総合防災訓練実施年表でございます。昭和47年度の第1回目から昨年までの訓練実施の経過を示しております。

9ページをご覧ください。

平成23年度 東京都・小平市・西東京市・武蔵野市・小金井市合同総合防災訓練【概要案】でございます。

1番の実施日につきましては、先ほど申し上げましたとおり10月3日(土)でございます。

2番の統一テーマにつきましては、「自助・共助」と「連携」でございます。

3番の被害想定につきましては、「首都直下地震による東京の被害想定報告書」(平成18年5月)に基づき、訓練実施時期を考慮して設定いたします。

4番の主な訓練内容でございますが、(1)から(9)までの9つの項目があります。

なお、資料11ページの、都立小金井公園 会場配置案と合わせてご覧いただきたいと思っております。

- (1) 地域住民の避難場所への避難訓練及び避難所運営訓練ですが、今回は異なった行政区同志の連携という意味で小金井市と合同で実施いたします。
- 会場につきましては、資料11ページの中央下段、ピンク色の囲いの部分です。ここは、小金井市の総合体育館になります。訓練内容の詳細は資料の14ページになります。
- (2) 共助による救出救助訓練ですが、同一の町会内の住民同士による倒壊家屋からの救出救助及び応急救護の訓練を実施します。
- 資料の12ページになります。
- 訓練内容につきましては、右側に記載してあります。身の周りにある資器材を用いて簡易的な救出救助訓練を実施するものでございます。
- (3) 避難生活体験訓練ですが、資料11ページの青色の囲いの部分です。
- ここでは、実際に応急仮設住宅を建て、前日（金曜日）から、応急仮設住宅での生活体験を実施いたします。
- 体験希望者を各市から10世帯ほど募り、前泊していただきます。
- 訓練内容は、防災に関する勉強会や、ビデオ映像による視聴覚教養、カレーの炊き出し訓練等を実施いたします。
- (4) 児童・生徒による体験型教育訓練ですが、資料11ページの中ほど緑色の部分でございませぬ。
- 小中高生が年代別に可能であろう訓練を想定して、のこぎり、バール、角材等の資器材を用いて簡易的な救出救助訓練を実施いたします。
- (4) 大規模救出救助活動訓練ですが、11ページの中ほど赤色の部分でございませぬ。
- ここでは、警察・消防・自衛隊及び海外からの部隊が連携して負傷者の救出救等を実施いたします。
- (5) 医療救護活動訓練ですが、資料11ページの茶色の部分でございませぬ。
- ここでは、東京都福祉保健局、医師会、東京 DMAT、東京消防庁、自衛隊等が連携し、多数の負傷者が発生している環境下におけるトリアージ等の初期における医療措置を実施いたします。
- (6) 支援物資及び広域応援部隊の受援訓練ですが、資料11ページの深緑色、右上の部分及び、立川防災基地などで実施いたします。
- ここでは、都内複数箇所から大量の支援物資が搬入されます。その仕分けや、市内の避難所への輸送訓練を実施いたします。
- (7) 検視・検案・身元確認訓練ですが、資料にはございませぬが、会場は花小金井南中学校の体育館で実施いたします。
- ここでは、警視庁、医師会等が連携して検視・検案・身元確認訓練を実施いたします。

(8) 展示・体験、応急復旧等訓練ですが、資料11ページのオレンジ色の部分でございます。

ここでは東京都の各局、ライフライン等の防災関係機関による展示・体験、実演等の訓練を実施いたします。

以上で、議案第1号の「平成23年度小平市総合防災訓練の実施について」の説明を終わります。

なお、参考といたしまして、資料の末尾に小平市防災会議委員の方々の名簿を添付させていただきました。

【会長（市長）】

ただいま提案いたしました議案第1号につきまして、質疑をお受けいたします。何かございますか。

—— 質疑なし ——

【会長（市長）】

それでは、議案第1号につきまして、承認させていただき、防災関係各機関との調整を図りながら、実施したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【会長（市長）】

続きまして、次第4のその他とさせていただきます。

事務局からは、特にないと聞いておりますが、各委員から何かございましたら、お願いいたします。

—— 発言なし ——

特にないようですので、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。本日は、大変ありがとうございました。